

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社是

創造 融和 誠実のもと、炭酸カルシウムの新たな価値を創造し、誠実なもの作りを通じて人々の豊かな生活を支える

ROE
8%

② 中長期の経営戦略

1. AI活用による生産方法の抜本的見直し

AI駆使により令和の時代に適合した製造業へ転換。収益向上の道筋が明確となる生産システム確立

3. 資本コスト意識した経営推進

政策保有株売却、自社株買い、収益性向上投資を通じて株価・資本コストを意識した経営展開

2. 2050年カーボンニュートラル達成

焼成技術の進化導入で炭酸ガス排出量低減と生産コスト低減を同時実現

4. M&Aと提携による事業展開

国内外企業との連携でM&A・提携を推進。新市場・新用途開拓に取り組む

③ 対処すべき課題

① 世界経済の混乱への対応

- ・米国の自国優先政策と関税による経済的混乱に直面
- ・基軸通貨国の政策転換への事業適応が急務

② 国内コスト上昇への対処

- ・少子高齢化による人手不足で人件費・物流費・設備費が急速に上昇
- ・装置産業として生産・販売両面でコスト構造改革が必要

③ カーボンニュートラルと収益両立

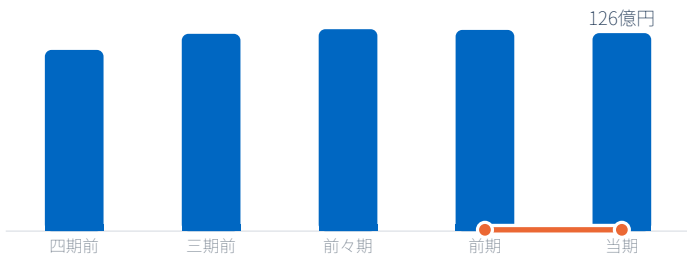
- ・2050年カーボンニュートラルは既定路線で避けられない投資課題
- ・焼成技術進化導入で排出削減と原価低減の両立を実現する必要がある

面接で使えるポイント

- ・1926年創業以来『創造 融和 誠実』の社是で炭酸カルシウム事業を展開。豊かで持続可能な社会実現が経営基軸
- ・AI活用や焼成技術進化により、2050年カーボンニュートラル達成と生産効率化を同時推進する先進的製造業への変革計画
- ・女性・外国籍社員ら多様な人材を大事にし、チャレンジを賞賛する文化を醸成。

証券コード 4102

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
丸尾カルシウム株式会社の事業内容
…

主力事業・セグメント

- ・化学（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続20.2年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
126億円営業利益率
0.7%財務健康度
32点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 38.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
574万円

化学内 173位/204社

平均年齢
45.6歳

化学内 22位/204社

平均勤続
20.2年

化学内 13位/204社

女性管理職
12.2%

化学内 42位/173社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 丸尾カルシウム[4102]: 配当予想の修正(創業100周年記

